

08 | 工夫や改善

- 期日前投票所を増設。混雑緩和や利便性向上のため、令和4年7月の衆議院議員選挙からアゼリアモールに増設し、若者の投票促進のため現役高校生が立会人を務める[令和4年～]
- 広報紙、カレンダーの内容刷新。広報紙は月2回から1回に。カレンダーはデザイン変更によりコンパクトに。市のホームページなど多様な広報媒体の利活用との相乗化を図り経費削減の効果も[令和4年～]
- 三の丸芸術ホールのネーミングライツ(公共施設の命名権)やDX(デジタルトランスフォーメーション・情報の数値化と改革)、「ぼんちゃん券」のデジタル化など、官民連携による業務の改善、効率化などを推進[令和5年～]

09 | 意見を反映

- アドバイザーボード(関係者からの意見、アイデアを市政に反映させる)を開設。これまで4分野を開催[令和3年～]
- 移住コーディネーターを委嘱。移住希望者と館林市を繋ぐため相談支援や情報発信を担当[令和4年～]
- 車座市政報告会の開催。コロナ禍により延期された各地区との直接対話の機会。市民との双方向の行政運営を目指す[令和4年～]



アドバイザーボードの テーマと提言

- 令和3年10月 移住定住…移住者向けペーパードライバー講習の受講支援を
- 令和4年 6月 観光…SNS 媒体を活用し情報発信取組みの強化を
- 令和4年 9月 多文化共生…日本語能力向上のため「日本語能力試験」受験支援を
- 令和4年12月 公共交通…市民の多様なニーズに応える路線バスに

『便利でちょうどいいまち館林』

市民の皆様が何を期待し、何を求めているのか? ニーズを敏感にキャッチし、満足するサービスをタイムリーに提供することは民間企業とも同じです。限られた財源の中では、政策的に事業の選択をしなければなりません。その際には、市民に寄り添い、長所を伸ばし、短所を改善することが館林市の強みになります。自然や歴史、文化、伝統、人情、なりわいなどを引き継ぎながら人口減少や中心市街地活性化、コロナ禍に日々取り組み、10年後、20年後を見据え、元気なまちを目指

します。幸いにも、今年のNHK大河ドラマでは、徳川家とゆかりの深い榊原家も登場することでさらに観光面でも期待がもてます。本市の持つ魅力や資産を様々な広報媒体によってアピールするとともに、日本遺産という共通の宝を保有する両毛地域の自治体ともこれまで以上の連携を図って参ります。そして何よりも構成文化財を支えて頂いている市民の皆様のご協力がなければ私たちの目標は達成できません。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

た だ 多田よしひろプロフィール

1960年3月生まれ
大学卒業後、16年間のサラリーマン生活
1998年5月…不動産管理業創業
2006年9月…館林市議会議員(正副議長)
2017年5月…群馬県議会議員
2021年4月…館林市長



多田善洋後援会

〒374-0024 群馬県館林市本町4丁目14番1号 TEL.0276-72-7515 FAX.0276-72-7525
E-mail : tadanet@nifty.com https://tadanet.jp

多田よしひろ 検索



多田よしひろ 検索



2023後援会報 討議資料

Do! 2023 春号

GUNMA
TATEBAYASHI
YOSHIHIRO TADA
DO! 2023-SPRING

継承と

変革と。

多田善洋の 市政報告



館林市出身(八小、多々良中卒業)、J1浦和レッズ所属の岩尾憲選手と

令和3年4月2日、市長としてまず考えたのは、コロナ禍における市民の皆様の命と健康、そして歴史と伝統ある館林市の継承と変革でした。時はあっという間に流れ、2年が過ぎようとしています。1年目は、事業と予算は決まっており、その中で優先順位を決め、かつ、新たな視点から何に注力するか。事業の中止や延期

が重なり、市民の皆様や事業者の方々の苦難にどう向き合うか腐心しました。積み上げたものを否定するのではなく、固まりつつある観念に鍼を入れ、そして種を蒔く作業を行いました。2年目は、少しずつ芽が出てきています。さらに、3年目には成長し、根を張る作業に取り掛かります。就任時から新型コロナウイルス感染症との

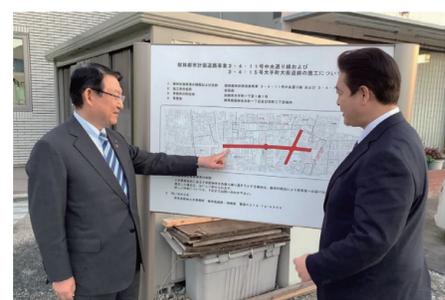
闘いでもありましたが、「変化対応サービス業」との名の通り、皆様との対話を重ねながら協働の心で行動してまいりました。今回の報告は、1~2年目の投資への取り組みと3年目の飛躍に向けた計画をご覧いただくものです。ご理解とご協力を賜れば幸いです。

多田善洋

※Do!…「行動こそ原点!」の意



多田善洋の市政報告



01 | 土地を活かす

- 農用地区域変更(青地除外)申請を年1回から2回に増やすとともに、分家住宅開発許可基準を3親等から6親等にまで広げ、居住促進・移住定住の促進策とした[令和3年]
- 北部工業団地(第4地区)令和6年度の方譲に向け造成工事を発注。大島地区の新規産業団地の令和7年度からの分譲に向け事業を推進[令和4年~]
- 茂林寺南岸用地は、官民連携体制による観光地として交流人口の拡大を目指し、利活用を図る[令和5年~]
- 野辺地区のほ場整備事業を開始し、地域農業の安定化・活性化を図る[令和5年~]

02 | 魅力ある交流

- 館林東西駅前広場連絡通路に駅前観光案内所を移設。観光案内、お土産なども販売[令和3年]

- 民間団体と行政が連携して公共空間(パブリックスペース)を活用する実験的イベント「つなぐ・まちなかフェス in たてばやし」の第1回を開催[令和3年~]
- 街なかに出店する商業者の新築や改装工事の費用、備品購入費用の補助を行う「店舗ウエルカム補助金」創設[令和4年~]
- 邑楽郡5町に館林市が加わり、サントリー(株)との連携包括協定を締結。ふるさと納税返礼品として新たなラインアップに[令和4年~]
- 2029年に群馬県で国民体育大会が開催されるにあたり、館林市はレスリング競技(城沼総合体育館)とボート競技(城沼)が決定。日本遺産「里沼」周辺はスポーツ会場として施設整備を進めて行く[令和4年~]
- 街なかの未利用地を活用するため、コンテナハウス(製造小売店などを想定)を設置して行く。さらに、トライアル・サウンディング(公共施設の暫定利用)という考え方で、リノベーション(空室の機能をさらに高める)整備を官民連携で行なう[令和4年~]

03 | 投資を呼び込む

- 緑町交差点南側にスーパーマーケット改装とともに新たな商業モールがオープン[令和4年~]
- 当該企業は、現在のソース等の製造工場に加え鳩ヶ谷工場から製造工場・研究開発施設を移設するとともに、新棟の建設や既存工場の拡大を行なう[令和4年~]
- 当該企業は、コンビニエンスストア向けの惣菜・弁当の製造、加工を行なう工場を移転させ、200名の新規採用とともに、令和6年から操業を開始する[令和5年~]

04 | 命と健康を守る

- R3年4月から新型コロナワクチン接種券の年代別発送を行う(66,000通)とともに、現在、乳幼児から高齢者まで、変異株に対応したワクチン接種を行っている[令和3年~]
- 介護・障がい者施設や幼稚園・保育園・小中学校に抗原検査キットを配布し、感染拡大防止に努めた[令和3年]

05 | 子育てを支援

- 国に先駆け、新たに「こども局」を新設。子育て世代への相談体制強化と幼稚園・保育園の一体運営とこども園化を推進[令和4年~]
- ◆R5年度…
北幼稚園+長良保育園=北こども園
東幼稚園=東こども園
- 誕生給付金を支給。第1子・第2子への1万円の誕生給付金に加え、第3子にはさらに10万円を支給[令和4年~]
- 市内全小中学校をコミュニティスクールに。これは学校と保護者、地域の皆さんが協働して子どもたちの成長を支えるという事業(H30の第四小からスタート)[令和4年~]

06 | 教育の振興

- 高校生世代の医療費を無料化に。現在の入院医療費無料化をさらに、R5年4月から支援内容を拡充し通院医療費も無料化にする。これは邑楽郡5町と連携を図り、子どもたちの健康を保持し、安心して子育てのできる環境整備を図るもの[令和5年~]
- 第3子以降の児童生徒の給食費を無料化に[令和3年2学期~]
- 市内小中学校全16校で「館林版英語村プロジェクト」を実施。児童生徒の英語の学習意欲・英語力の向上を目的に実用英語技能検定(英検)を受験する小中学生の保護者に対し、検定料の一部を補助[令和3年~]
- コロナ禍で原油価格や物価高騰のなか、大学や専門学校に修学している全学生に、一人2万円を給付[令和4年]

07 | 物価対策と費用の軽減

- 館林市結婚新生活支援補助金を創設。結婚を機に市内で新生活を始める方の住居費用や引越しの費用を補助。1夫婦につき上限30万円[令和3年~]
- 国・県の支援金(緊急事態措置対応事業継続支援金)の対象とならない中小事業者を対象とした市独自の事業継続支援金を支給[令和3年]
- 新型コロナウイルス感染症対策[令和4年]
 - ◆物価高騰対策支援事業(市民一人当たり3,000円のクオカード)
 - ◆こども・子育て応援給付金
 - ◆市民雇用奨励金
 - ◆施設園芸農家支援給付金
 - ◆燃料価格高騰対策事業者支援事業
 - ◆給食用賄材料費増額

